

## 計算のきまりについて理解を深めよう

単 元	式と計算の順じよ	対象学年	4 年
ね ら い	それぞれの図にあう式を考え、図を使って言葉で説明することができる。		

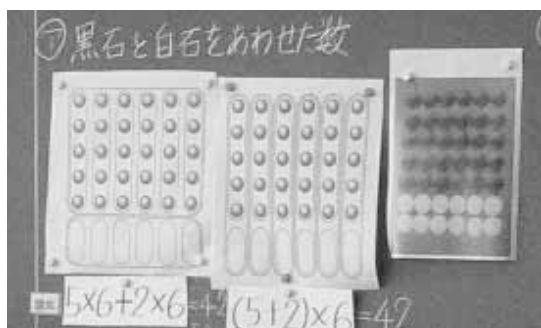
### 1 準備するもの

教師： 碁石の図（掲示用，児童配付用）

### 2 学習のしかた

(1) 黒石と白石が並んでいる図を見て、碁石の囲まれ方に着目して、適切な式を選ぶ。

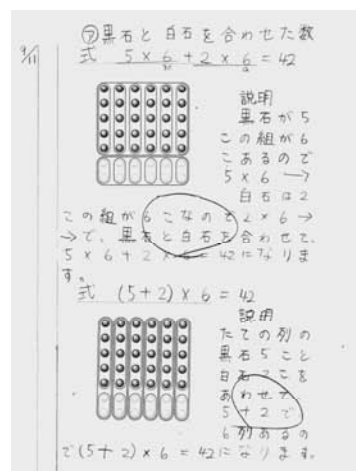
授業で文章問題を扱うときは常に、問題文を図に表してから立式させたり、式の意味を考えさせたりする。しかし、文章問題が苦手な児童は図に表すのが難しかったり、立式を個人で行うことが難しかったりする。今回の授業では、式の説明に重点を置く。そこで、立式はさせず、2組の図と式を提示した。そして、どちらの式がどちらの図を元にして立式されているのかを考えさせる。



【式と図を同時に提示し、式と図をつなぎあわせた】

(2) なぜその図と式をつなぎあわせたのか、自分なりに考え、ノートにまとめる。

黒板に添付した図と同じものを一人一人に配り、それをノートに貼らせ、なぜその図と式をつなぎあわせたのか自分の考えをノートに書き込ませる。まとまりきっていない考えも、ノートに言葉や文章を書いていくことで整理されていく。



【図に考えを書き込んだノート】

(3) なぜその図と式をつなぎあわせたのか、それぞれの考えを班の中で話し合う。

少人数の中での話し合いのほうがのびのびと行うことができるため、グループで話し合うことにする。

班の中では、説明の自信がある児童から発表させ、一人一回はなるべく発言するように